【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-537315(P2004-537315A)
【公表日】平成16年12月16日(2004.12.16)
【年通号数】公開・登録公報2004-049
【出願番号】特願2003-518296(P2003-518296)
【国際特許分類】
Ａ２３Ｋ　1/16　(2006.01)
Ａ２３Ｋ　1/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２３Ｋ　1/16　３０２Ｂ
Ａ２３Ｋ　1/16　３０１Ａ
Ａ２３Ｋ　1/16　３０１Ｇ
Ａ２３Ｋ　1/18　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成17年8月1日(2005.8.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ビタミンE、ビタミンCおよびカロテノイドを含有することを特徴とする、コンパニオンアニマルにおいてDNAの損傷を減少させるための食品。
【請求項２】
タウリンをさらに含有することを特徴とする請求項１記載の食品。
【請求項３】
カロテノイドが、β－カロチン、ルテインまたはリコピンのうちのひとつまたはそれ以上であることを特徴とする請求項１または２記載の食品。
【請求項４】
ビタミンEの含有量が食餌400kcalあたり25IUまたはそれ以上であることを特徴とする請求項１から３いずれか１項記載の食品。
【請求項５】
ビタミンCの含有量が食餌400kcalあたり10mgまたはそれ以上であることを特徴とする請求項１から４いずれか１項記載の食品。
【請求項６】
カロテノイドの含有量が食餌400kcalあたり0.01mgまたはそれ以上であることを特徴とする請求項１から５いずれか１項記載の食品。
【請求項７】
タウリンの含有量が食餌400kcalあたり80mgまたはそれ以上であることを特徴とする請求項２から６いずれか１項記載の食品。
【請求項８】
ドライタイプ、ウェットタイプまたは半生タイプであることを特徴とする請求項１から７いずれか１項記載の食品。
【請求項９】
ビタミンE、ビタミンCおよびカロテノイドを含有する食品をコンパニオンアニマルに与

える工程を含むことを特徴とする、動物において核酸の損傷を減少させる方法。
【請求項１０】
前記食品がタウリンをさらに含有することを特徴とする請求項９記載の方法。
【請求項１１】
カロテノイドが、β－カロチン、ルテインまたはリコピンのうちのひとつまたはそれ以上であることを特徴とする請求項９または１０記載の方法。
【請求項１２】
ビタミンEの含有量が食餌400kcalあたり25IUまたはそれ以上であることを特徴とする請求項９から１１いずれか１項記載の方法。
【請求項１３】
ビタミンCの含有量が食餌400kcalあたり10mgまたはそれ以上であることを特徴とする請求項９から１２いずれか１項記載の方法。
【請求項１４】
カロテノイドの含有量が食餌400kcalあたり0.01mgまたはそれ以上であることを特徴とする請求項９から１３いずれか１項記載の方法。
【請求項１５】
タウリンの含有量が食餌400kcalあたり80mgまたはそれ以上であることを特徴とする請求項９から１４いずれか１項記載の方法。
【請求項１６】
構成成分を同時、別異に、または連続して与えることを特徴とする請求項９から１５いずれか１項記載の方法。